

令和6年度（2024年度）学校環境ISOへの取組
 ＜荅北町立荅北中学校＞

2 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>学校版環境ISOの宣言項目を新たに作成し、校内に掲示するとともに環境美化委員会を通じて呼びかけを行い学級全体で意識を高めた。</p> <p>※（ ）内の数値は目標値であり、3～0で評価する。</p> <p>①出るゴミを減らし、分別し、リサイクルに努めます。（2. 8）</p> <p>②手洗い・歯磨きの水を節約し、使用しないときは確実に蛇口を閉めます。（2. 7）</p> <p>③使わない教室の電気を消し、省エネに努めます。（2. 7）</p> <p>④給食は楽しく食べ、残菜ゼロを目指します。（2. 5）</p> <p>⑤みんなで無言清掃に取り組み、校舎内外をきれいにします。（2. 3）</p> <p>⑥地域のボランティア活動に積極的に参加します。（1. 8）</p>
行動		<ul style="list-style-type: none"> ・美化コンクールの際にゴミの分別について細かくチェックを行い、不備な場合は次の日の短学活で環境美化委員会からクラスへゴミ分別の呼びかけを行った。隔週1回の各クラスのゴミの回収の際に環境美化委員でチェックを行った。 ・移動教室の際の教室整備の徹底に全校で取り組んだ。教室の消灯は生徒で、空調機器のスイッチは、学級委員が担当の先生に伝えることで確認するようにした。 ・生徒会長や環境美化委員長からの呼びかけをはじめ、生徒や職員の評価項目に入れて学期ごとに評価することで「無言掃除」に全校で取り組んだ。 ・地域のボランティア活動として町の取組に合わせて学年毎に、海岸清掃や学校周辺のゴミの回収を行い、奉仕活動への意識を高めた。 ・学年園では、花や野菜を季節毎に育てることで、水やりや草取り、収穫など、みんなのために働くという活動を取り入れた。 ・生徒の取組については、学校・学級便りや学年懇談会時に保護者に伝え、環境保全への家庭や地域の啓発とした。
記録		<ul style="list-style-type: none"> ・奇数月に全校生徒を対象に「学校版環境ISOチェック表」を配付し、ISO宣言の項目に対しての自己評価を行った。 ・7月と1月のチェック表の結果を比べると、 ゴミの分別（2. 85→3. 00） 節水（2. 80→2. 90） 省エネ（2. 53→2. 70） 残菜（2. 50→2. 53） 無言清掃（2. 42→2. 53） ボランティア（1. 51→1. 72） ・全項目とも伸びが見られた。特に「ゴミの分別」と節水はとても高かった。「無言掃除」が昨年1月の2. 33からかなり改善した。「ボランティア活動」は新型コロナ感染が5類に移行した以降、新たに設定した。
見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は、委員長を中心に環境美化委員会の意識も高く、美化コンクールや環境ISOのアンケート結果の発表、2週間に1回行っているゴミの収集などしっかりと取り組むことができた。美化コンクールの結果を毎回各学級に周知し、自分の学級の課題を翌日には学級全体で共有できるようにした。また、コンクールが終わった際には校内放送で結果を発表し、全校生徒への意識付けを行った。 ・地域へ働きかけとして、「ボランティア活動」を設定したが、目標には達しなかった。町の行事等へのボランティア活動の参加も少しずつ多くなっているため、今後も地域の活動を盛り上げていきたい。 ・給食に対しては、残菜ゼロをめざすとしているが、学期に数回ずつは残菜の量を計量したりして、アンケートでの意識調査とともに実際の状況も調査していきたい。

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>○年度当初に環境美化委員長と、環境 I S O や美化コンクールなどについて相談し、宣言の周知、計画的なアンケート調査、結果の発表、課題の共有などを P D C A サイクルとしてきちんと計画し、生徒の主体的な活動として実施したことで、本年度は、1 学期に比べて 2・3 学期の結果は全項目で伸びが見られ、学校全体として意識を高めることができた。特に、9 月の全校集会では、環境美化委員長から環境 I S O や美化コンクールの 1 学期の結果を発表し、良かったところとともに課題等も発表し、全校生徒の意識を高めることができた。</p> <p>○教職員の方も校内の倉庫やゴミ回収箱の周りを全職員で整理したり不要な物を清掃センターに運んだりして整理整頓を徹底することができ、環境美化や分別への意識を高めることができた。</p> <p>○地域の清掃活動に参加したことで、自分たちで地域をきれいにしようという気持ちを高めるとともに地域のボランティア活動への参加意欲を高めることができた。</p>	<p>▲環境 I S O の校内での取組は、環境保全等への生徒の意識を高めるためであり、その目的はある程度達成できつつある。今後は、これを家庭や地域に広げていくことが必要であり、具体的には、生徒の取組の広報や生徒を通じての家庭や地域への意識調査も必要と思われる。</p> <p>▲トランプ大統領の就任によりアメリカ合衆国がパリ協定から離脱するとの報道もなされており、温暖化対策など地球規模での環境問題への意識を高めるために、来年度は、環境問題に通じている人に来てもらって、環境問題、環境保全についての講演会等を是非行いたい。</p> <p>▲宣言の 6 つの項目の中では、ボランティア活動の評価はもっと高め、地域行事等への参加意欲を高め地域を盛り上げていきたい。無言掃除は、昨年度より改善したが、自分で考え主体的に行動するなどの意識を高めることで、不必要な私語を減らし、無言で一生懸命に取り組む清掃活動を目指したい。</p>